

職員による自己評価

A環境面

バリアフリーでは無いが活動スペースとしての不便さは感じていない。

B児童への支援内容

支援について、今後とも継続して行っていく。

C関係機関との連携

卒業後の進路等、放課後デイの利用終了後の関係が希薄。

D保護者への説明責任・信頼関係

父母会等の実施が出来ていない。

E非常対応

ヒヤリハットについて曖昧になっている。

保護者による評価

A環境面

施設に入る機会がない。
わからない。

B児童への支援内容

障害の無い子供との関わりがあるのかわからない。

C事業所からの情報発信

他の保護者と関わる機会が少ない。
情報共有が曖昧。

D非常対応

非常時の訓練がされており、説明がされている。

事業所内での分析

【共通点】

父母会など保護者様同士のコミュニケーションの場が少ない。

【相違点】

なし

分析・検討してみて…

事業所の強み

- 活動スペースが広い。
- 公園が近くにある。
- 駅が近く、買い物や公共機関を使つての学習ができる。

事業所の改善点

- 情報共有の徹底。
- 保護者様同士にコミュニケーションができる場の提供。
- 施設内でのイベントの実施。
- 障害のない方との交流の機会を増やす。

事業所の改善への取り組み

- 職員同士での情報の洩れや、保護者様への連絡不足を防ぐため、支援前の LINE など確認を徹底する。
- 口頭だけではなく、文字としてしっかりと記録を残し、確認漏れが無いよう職員同士確認を行う。
- 室内でのイベントで保護者様が参加できるイベントを増やす。

～自己評価を行つての事業所としての感想など～

今回いただいたご意見をもとに、より満足いただける支援ができるようすぐにでも改善を行いたい。平日の公園で遊ぶ機会が減っていた。公園で遊んでいる方との交流ができるよう、活動プログラムに取り入れていく。

事業所名 鶴ヶ峰もえぎ本部

担当者 上原 明星